

七五三

七五三は、お子さまが三歳・五歳・七歳を迎えた節目に行く儀礼です。

お子さまがここまで無事に育ったことに感謝し、これからも健やかに成長することを願う意味が込められています。

三歳を「髪置の祝い」、
五歳を「袴着の祝い」、
七歳を「帯解の祝い」「帯結の祝い」
または「紐落の祝い」と称して、それぞれ髪形や服装を変えて、成長をお祝いします。

お寺で行う七五三法要では、
聖なる智慧の水をあたまに注いで、
阿弥陀さまのやさしい思いやりの心を授ける、
灌頂洒水を行うこともあります。

お子さまの健やかな成長を願う気持ち、
仏さまの慈悲の心に通じるといえます。
七五三という大切な節目を、
仏さまといっしょにお祝いしましょう。



ぬりえ

しちごさん

ほとけさまに
「ありがとう」をつたえて、
すくすくげんきにすごせるように、
おねがいするひ。

おきものに「もよう」をかいて、
すきな「いろ」でぬってみよう！

しちごさんは、
みんなが、おおきくそだったことを
「おめでとう」とおいわいするひ。

あかるく ただしく
なかよくの
ころをもつて、
おてらに
おまいりにいこう！

